

授業科目名	経済統計	学 年	2 年	単位数	4	開設期	後期
担当教員	河田 正樹	指 定	選択	備 考			

授業のねらい・概要

新聞紙上では、完全失業率、消費者物価指数、景気動向指数、国内総生産(GDP)などといった経済データが連日のように記事となっています。この講義では、経済データの成り立ちや経済データを用いた簡単な分析を学び、日本経済や世界経済についての理解を深めるとともに、経済諸現象のデータを用いた分析をおこなうための基礎をやしません。

学習の到達目標

経済データの作成方法・特性を学ぶことによって、新聞の経済記事を理解できるようになります。経済諸現象について実証分析をおこなうための、データに関する基礎知識を得ることができます。

授業全体のすすめ方・指示事項

PowerPoint のスライドを用いた講義をおこない、講義の最後に練習問題をおこないます。スライドはハンドアウトを配布するとともに講義用 HP に掲載するので、必要に応じて参照してください。

実際のデータとその分析例の紹介を積極的におこないますが、時間の制約上限りがあります。講義時間外に、関連する機関の HP にあるデータを見るようにしてください。

関連する新聞記事のコピーを適宜配布し、解説します。

授業計画

第 1 回	ガイダンス	第 16 回	中間試験
第 2 回	日本の統計制度	第 17 回	中間試験の解説
第 3 回	全数調査と標本調査(1)	第 18 回	物価指数(1)
第 4 回	全数調査と標本調査(2)	第 19 回	物価指数(2)
第 5 回	人口に関する統計(1)	第 20 回	物価指数(3)
第 6 回	人口に関する統計(2)	第 21 回	物価指数(4)
第 7 回	人口に関する統計(3)	第 22 回	物価指数(5)
第 8 回	人口に関する統計(4)	第 23 回	時系列データ(1)
第 9 回	労働に関する統計(1)	第 24 回	時系列データ(2)
第 10 回	労働に関する統計(2)	第 25 回	景気指標(1)
第 11 回	労働に関する統計(3)	第 26 回	景気指標(2)
第 12 回	家計に関する統計(1)	第 27 回	景気指標(3)
第 13 回	家計に関する統計(2)	第 28 回	国民経済計算(1)
第 14 回	家計に関する統計(3)	第 29 回	国民経済計算(2)
第 15 回	家計に関する統計(4)	第 30 回	まとめと復習

成績評価の方法

期末試験に加え、中間試験、レポートの合計点で評価をおこない、出席点を加点します。

成績評価の基準

成績評価の項目	具体的な内容与方法	評価割合 (%)
定期試験 (期末試験)	試験期間に期末試験を実施します。	50
授 業 内 の テ ス ト	中間試験を実施します。レポートに代えることもあります。	25
授 業 内 の レ ポ ー ト	数回予定しています。	25
出 席	出席点を加点します。	加点
合計		100

教科書	使用しません。講義スライドのハンドアウトを配布します。
参考書・指定図書等	佐竹 元一郎 編著『経済の統計的分析』中央経済社 3150 円 廣松 毅 ほか『経済統計』新世社 2940 円 中村 隆英 ほか『経済統計入門(第 2 版)』東京大学出版会 3045 円
メッセージ	より詳しい情報は講義用 HP(http://www2.tokuyama-u.ac.jp/kawada)に掲載しますので、そちらも参照してください。 データの面から日本経済をながめてみましょう。